

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] STAT 画像報告(緊急疾患画像所見報告)の現状と今後の展望

[研究責任者] 医療技術局 放射線室 太田 晃生

[研究の背景]

当院の救急外来診療では、画像診断(レントゲン、CT、MRI)が必要不可欠となっており 25000 件/年(休日・夜間のみ)以上の画像検査が実施されている。夜間・休日の救急外来診療は、画像読影診断を行う放射線科医師が常駐していない。そこで、画像検査を実施する診療放射線技師が、読影の補助の一環として STAT 画像報告をする体制の構築ならびに診療放射線技師の読影能力向上に向けた取り組みを 2022 年 10 月より開始した。本研究では、STAT 画像報告の所見データ解析および医師へのアンケート調査を通して、STAT 画像報告体制の有用性や課題について検討を行い、診療放射線技師が救急診療に対してより貢献ができる環境を構築する。

[研究の目的]

STAT 画像報告(緊急疾患画像所見報告)の所見データ解析および医師へのアンケート調査より、STAT 画像報告体制の有用性や課題について検討を行うこと。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

夜間救急外来において画像検査を実施した患者さんで、西暦 2022 年 10 月 1 日から西暦 2023 年 4 月 30 日の間に緊急疾患の診断を受けた方

●研究期間：西暦 2023 年 6 月 5 日から西暦 2023 年 10 月 1 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：

- ① 臨床所見(年齢、性別、診断名)
- ② X線写真(レントゲン写真)
- ③ CT画像(単純または造影CT)

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 放射線室 太田 晃生

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913